



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
 発行責任者 佐川愛子
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com
 ☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>
<http://www.nara9jyonet.com>
 53号 2022年2月11日発行



憲法審査会は今までの状況と様変わり。憲法審査会の委員の多くは「改憲を一刻も早く議論すべき」「まず改憲ありき」の意見です。憲法審査会委員に激励と抗議のファックス・葉書を送りましょう。今が、大事な時期です。

九条の会奈良県ネットワークへの2021年度の協力金をお願いします。

送付先: ゆうちょ銀行
 記号 14530 番号 27006271
 九条の会奈良県ネットワーク

2022年2月10日に憲法審査会が行われました。

国民の多くは、今、憲法の論議を必要としていません。オミクロン感染の拡大で「いかに命を守るのか、生活がどうなるのか」など国民は不安や恐怖を身近に感じています。国会議員に求めているのは、オミクロン感染に対する対策であり、ひっ迫している生活への補償です。「今なぜ、こんなに慌てて国民抜きの憲法審議をすすめるのか」憲法審査会そのものに疑念を覚えます。1週間に1回の憲法審査会を求めている政党・議員は国民がどんな状況で暮らしているのか分かっているのかと不信を覚えます。

立憲民主党奥野総一郎筆頭幹事は「予算委員会ではコロナ対策など予算に関わる大事な審議の最中だ。頻繁に開く事は厳に慎むべき。改憲よりも優先すべき課題がある」道下大樹委員は「憲法改正ありきで審査会があってはならない。憲法改正の必要性はどれも乏しい。緊急事態条項導入でコロナ対策など規制を厳しくとの意見があるが、感染症法の法改正で充分対応できる。岸田政権が今国会で感染症改正法提案を断念したのは残念。ワイマール憲法の緊急事態条項の乱用は歴史が証明している。教育の無償化については民主党政権時代に高校の無償制度を導入、安倍政権時代に幼児教育の無償化が法律で制定。法律の改正によって教育の無償化はできる。改憲の必要はない」近藤昭一委員「CM規制、安保法制や違憲の問題、憲法が具現化されているのか審議すべき。99条から憲法を遵守する立場にありながら『改憲、改憲』と言われる事に違和感をもつ。国民が求めているものは何か議論の必要がある」と述べました。

日本共産党赤嶺委員は「4項目の改憲は断じて許せない。憲法に反する現実を糺す議論が必要。医療・保健所の体制放置、193万人の完全失業者、非正規労働者の増加、若者・女性の貧困、一人親世帯は深刻、十分な補償がなく憲法25条の生存権を初め憲法を精神を生かすことが政治に求められている。米軍基地が感染対策の大穴になっている。沖縄県ではキャンプハンセンで大規模なクラスターが発生。国民のいのちと健康にとって重大な問題。感染の不安と危機に見舞われている。党派を超えて日米地位協定の改定が求められている」と述べました。

九条の会奈良県ネットワーク交流会

2月6日(日)13時半から16時まで女性センターで「改憲を許さない」運動をどう進めていくのか13名、ZOOM参加2名で交流を行いました。*7月参議院選まで後5か月、何をするかの発想がない。あせっている。*釣りクラブの人、知人、教え子に署名用紙を送る。釣りクラブ一人10筆提案。奈良市内の小学校に戦争の話をする。「初めて戦争の話聞いた」と感想をもらう。*コロナ禍を利用して改憲をすすめている。*署名用紙をポスティング。20名ほど集まる。戸別訪問を予定。「茶論(地域ニュース)」を発行している。*歌を通して平和の大切さを訴えている。維新は改憲になだれ込んでいる。大きな集まりが大事。*2歳で戦争で父を亡くす。子守に行っても食べ物ももらったり学校に行っても食べる事が心配だった。戦争は絶対いかん。憲法を変えたらあかんと馱でビラを撒く。*5人のグループで9条の会を作って「一人ひとりが賢くならないと同じ事の繰り返しになる。どうしたら道が開けるのか」*地域で街宣で訴え署名を集めている。戸別訪問も予定している。

広陵九条の会の取組

1月18日新年初めての世話人会を開催し、通常国会での岸田首相の施政方針演説の内容や1月7日の日米安全保障協議委員会の合意内容、自民、公明、維新、国民民主など改憲勢力の動きなどについて学習し、改憲をめぐる情勢が一段と緊迫していること、それと軌を一にして日米共同作戦体制の強化、合同軍事演習の拡大・高度化や敵基地攻撃能力保有の検討など、米軍と共に戦争する体制づくりが急ピッチで進められていることを確認し、これに負ける訳にはいかないと当面の取り組みを決めました。

- ①毎月19日の「19の日行動」を継続して行う
- ②広陵9条の会通信32号を3月中に発行する(約2000枚)
- ③「改憲発議に反対する全国署名」を5月30日までに500筆集める
- ④その推進力となる学習を強める。

今年最初の19の日行動を1月19日(水)、町内の商業施設・エコールマミ2階の南北連絡通路(公道)で10時集合~11時15分まで行いました。寒い中、今井光子県会議員(広陵9条の会世話人)を含め10人が参加、今井県議と他2名が交代でマイクでの訴えを行い、「岸田大軍拡・壊憲NO! 憲法をいかし、米中の緊張緩和こそ」のビラ配布と「改憲発議に反対する全国署名」の取り組みを行いました。ビラの受け取りは93枚、新署名は8筆集まりました。まだまだ少ないのですが、12月に比べビラ受け取りは33枚、新署名は3筆増えました。署名してくれた人から、マイクでの訴えに対し「9条に自衛隊を書き込むという自民党の改憲案が通ったらどんなことが起こるのか、すぐその先に徴兵制の導入があると言うことなどをもっと宣伝すべき」とアドバイスをいただきました。

19名の参加で、19日行動・スタンディング 宣伝 in 生駒

1月19日 オミクロン株感染急拡大の中、マイクは使わず感染対策を十分に取しながら、スタンディング宣伝 in 生駒を行いました。行き交う人は横断幕やポテッカーを覗き込み、なかには中央の机まで戻って署名をしてくれる人もあり、「憲法改悪許さない!」への関心の高さが感じられました。参加者は19名でした。

桜井9条の会は今年も成人式宣伝を

しました。4人の参加で、リーフのみ30枚ほどを配りました。ところが、今年から会場が、運動公園内の体育館に変わって徒歩で参加する人にしかリーフ等が手渡せません。ほとんどは、車で来て駐車場から会場に直行です。作ったプラスターは、これからの駅頭宣伝で活用します。

2月9日(水)午後4時から、桜井駅前北口で定例の「憲法宣伝」を4人で行いました。

通行する人も少なく、なかなか署名は街頭ではすすみません。憲法共同センター作成のビラ30枚を手渡しました。



平城ニュータウン九条の会は3時より9人の参加者で「9の日」アクションを行いました。世論調査で憲法9条に自衛隊を書き込むことに賛成する割合が50%を超える状況に危機感を抱きながら、「憲法改悪を許さない全国署名」を通行する方々にお願いしました。

若者に「このままでは、貴方達が戦争に行くことになるのよ」と訴え「俺たちは戦争に行きたくない」と署名してくれました。

「中国や北朝鮮が攻めてくるかも知れない、日本は軍隊で対抗しなければならない」と署名拒否される方もいました。中国も北朝鮮も「日本を侵略するぞ」と一言も言っていないのに、日本政府やマスコミが「中国の海洋進出、北朝鮮のミサイル開発は脅威ですぐにでも侵略して来て戦争が始まる」と煽っていることが、「中国・北朝鮮が脅威、日本も軍備拡張する必要がある」と思わせているのでは無いでしょうか。歴史が物語っているように、戦争は防衛を名目にはじまります。憲法9条を持つ国に防衛目的で戦争を仕掛けてくることは無いはずだと訴えていくしかありません。「憲法改悪を許さない全国署名」は28筆、「核兵器禁止条約の早期批准を」は6筆集まりました。

